

複雑化する社会 アジェンダを解き明かし、 次代のビジネスを拓く 「カタリスト」となれ。

合同会社デロイト トーマツ
代表執行役
鹿山 真吾



国内最大規模の専門知を「掛け算」し、社会アジェンダを紐解く

現代社会のアジェンダは極めて複雑化しており、もはや一企業単独で解決できる課題はほぼありません。私たち合同会社デロイト トーマツは、社会課題を解決するためのエコシステムを創り出す「カタリスト（触媒）」としての役割を強く求められています。

私たちの最大の強みは、戦略（ストラテジー）、リスク、トランザクションという領域から、テクノロジーを活用したトランスフォーメーションまでを一気通貫で支援できる圧倒的なケイパビリティにあります。さらに、それら3つの領域に加え、監査、税務、法務といったグループ全体の総力を結集し、クライアントの複合的なお悩みを包括的に解決へと導きます。国内最大規模である約12,000名の専門家たちが持つ知見を「足し算」ではなく「掛け算」することで、雪だるま式に巨大な価値を生み出せるのが合同会社デロイト トーマツの真骨頂です。

AIネイティブ時代を見据え、圧倒的なスピードで課題解決を

私たちは、イノベーションの創出や人口減少、サプライチェーンの強靱化といった「社会アジェンダ」を自分ごととして捉えています。個別企業の支援にとどまらず、課題の最上流から政策提言を行うなど、ガバメントレベルでのルール形成や変革にも踏み込んでいます。

これからのビジネスは、AIネイティブの世界へと急速に展開していきます。私たち自身もビジネスモデルを進化させ、現場でリアルタイムにデータを取得し、AIを活用して迅速に課題を解決する「フォワード・デプロイド・エンジニア（FDE）」のようなアプローチを加速させています。

インダストリーの深い知識、エンジニアリング能力、そしてクライアントと向き合うソフトスキル。これらを兼ね備え、アライアンスパートナーとも連携しながら一歩先を走ってベストなソリューションを導き出すことが、今後の重要なミッションです。

組織の壁を越えた自由な連携で、期待を越える価値を提供

合同会社デロイト トーマツで働く魅力について一番にお伝えしたいのは「純粋に仕事が好き」ということです。これだけの規模の組織でありながら、社長や代表といった肩書きで呼ぶ文化はなく、名前を「さん」付けで呼び合う非常にオープンでフラットな環境がベースにあります。さらに「まずはやってみよう」というベンチャースピリットが根付いており、圧倒的なスピード感でチームを組成し、プロジェクトを動かしていくダイナミズムがあります。

また、私たちが重視しているカルチャーが「Take care of each other（互助の精神）」です。個人プレーを容認せず、ラグビーのようにボールをもらったらずぐ横へパスを回し、チーム全体で前進することを重視しています。そして「1」の相談に対して、組織の壁を越えた連携で「10」の解決策を提示する。このカルチャーこそが、クライアントからの絶対的な信頼につながっています。

好奇心を持ち、変化と挑戦を心から「楽しめる」方へ



私たちが求めるのは、時代の変化を前向きにとらえられる「知的好奇心」を持った方です。なぜなら、私たちのもとに寄せられるのは、クライアントが悩みに悩み抜いた、高度に複雑化した「応用問題」ばかりだからです。

最初は答えのない難題を前に、大変な思いをするかもしれませんが、私たちにはどのような難題にも通用する強靱な基礎を身につけるトレーニング環境があり、何より各領域を極めた多様な専門家たちが蓄積してきた膨大な知見があります。一人で解けない問題であっても、組織の力を掛け合わせれば必ず解決の糸口は見つかります

そうした最前線の環境で、日々応用問題に向き合い、クライアントの期待に応えようと切磋琢磨し続けるからこそ、皆さんの実力が圧倒的なスピードで磨かれていくのです。

その環境の中で、あなたらしさを追求することが、チームへの最大の貢献となります。プロ野球のチームにホームランバッターや守備のスペシャリストがいるように、「この領域ならあの人に頼めば何とかなる」という一芸に秀でた多様な人財が必要です。多様性を重んじ、柔軟な働き方ができるデロイト トーマツの広大なプラットフォームで、ぜひ一緒に社会を変える挑戦を楽しみましょう。門戸は広く開かれています。皆さんのノックを心からお待ちしています。